

令和３年度ひたちなか市小中学校長研究協議会

令和３年１１月１６日（市定例校長会にて）

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

政府や県が打ち出した感染症対策の基本的対処方針では、人との交わりを低減する取組（例えば、在宅勤務、時差出勤、三密を避ける、手洗い、マスク、消毒等）を強く推奨している。このことが働き方改革とどのように関連づけられるのか。そこで本市校長会では、休校中に各校で取り組んだ「ＩＣＴを活用した実践」に視点を絞り協議を進めることにした。

視点１ 行政との連携や働きかけ

- 市教委学務課に対して（主に環境整備の充実依頼）
 - ・ 充電器、通信環境（Wi-Fi 環境）、セキュリティ対策
 - ・ 故障や破損時の迅速な対応
 - ・ 周辺機器の整備（ケーブル、アダプター、電子黒板等）
- 市教委指導課に対して（主に運用面・ソフト面の充実依頼）
 - ・ 市内共通の使用上のきまり作成
 - ・ 使い勝手のよい教材ソフトやシステムの検証と紹介及び導入
 - ・ 指導法等研究会の開催（先進事例の紹介）

視点２ 自校での取組（ひたちなか市内小・中・義務教育学校の取組から抜粋）

- 学級や授業での活用
 - ・ 一人の教員が複数クラスに自分の授業を同時配信できる。（空き時間の教員が増える）
 - ・ 自分の授業を動画で撮影してけば、いつでも他のクラスに配信できる。
 - ・ 板書や電子黒板の画像保存で、いつでも再生できる。
 - ・ クラウド上でのデータ保存・共有・配付や共同での作業ができる。
- 校務での活用法
 - ・ 在宅で学年会や職員会議に参加できる。（ならば、在宅で授業もできる。）
 - ・ 在宅で作成した書類をすぐに配付できる。
 - ・ クラウド上でのデータ保存・共有・配付や共同での作業ができる。
 - ・ 職員室以外でもパソコン（タブレット）を使つての事務作業ができる。
- その他
 - ・ 児童生徒用のデジタル教科書が導入されれば、ランドセル等の必要がなくなる。

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- 超過在校等時間４５時間以下への取組について
- 部活動の未来像について
- コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の運用について